

# くまびょう

141号

# NEWS

くまびょう  
NEWS  
2009年  
3月1日



[発行所]

国立病院機構 熊本医療センター  
〒860-0008  
熊本市二の丸1番5号  
TEL (096) 353-6501(代)  
FAX (096) 325-2519

## 国立病院機構熊本医療センターのホームページが リニューアルオープン致しました

新病院完成に先駆け、当院ホームページを「より見やすく」「より分かりやすい」ホームページをコンセプトとしてリニューアル致しました。

今回のリニューアルでは、訪問者の方が目的の項目にすばやくたどり着くように、見やすいホームページ、知りたいことを探しやすいホームページを目指し、デザインの変更、情報の再整理をおこないました。また、今回は、診療科案内を少し詳しくわかりやすくアップ致しました。

なお、ページの中には現在作成、修正中などの部分もありますが、順次対応を図るとともに、今後も使い易いホームページづくりを目指し、更なる工夫を行っていく予定ですので、どうぞご活用ください。

今後も患者様をはじめ、そのご家族の方、医師や看護師の方や地域の皆様のために、よりよい情報を提供していければと思っておりますので、今後とも宜しくお願いします。

(副院長 河野 文夫)

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

くまびょうNEWS55号から継続して掲載されています。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>



## 救急医療とかかりつけ医

医療法人CCR せんだ整形外科  
院長 千田 治道

昨今、地域医療特に救急医療の崩壊がマスコミなどで大きく取り上げられるようになりました。これは、言うまでもなく明らかな政策ミスであり私たち医療関係者にとっては以前より予想されていたことです。しかしながらことここにいたって、「国が悪い」「政治が悪い」と声を荒らげても虚しいばかりです。

救急医療の現場は、私が熊本医療センターに在職した20年前とは大きく変わり、目の回るような忙しさのなかで働かされているスタッフを拝見するにつけ、ただただ感心するばかりです。私自身は、7年前まで済生会熊本病院で救急医療の第一線で働いていましたが、その頃ですでに現場は一杯一杯だったように思います。そうした中で、熊本医療センターには救急救命センター・整形外科・内科・循環器科など

多くの科に普段から大変お世話になっています。

「この程度で診ていただいているのか？」と時々思いつつも、「医療は10に1つのエラーが致命的」との考えから、お送りしているのですが、いつも大変丁寧な対応を頂き感謝しております。一方、私たち開業医は“かかりつけ医”として地域の方々の健康管理をおこなう傍ら、救急医療で言うトリアージをおこなう大切な役割があります。

現在の医療システムにおいては、救急医療は熊本医療センターのような基幹病院でなければ不可能です。一方、予防医療・健康管理・疾患管理・在宅医療・疾患トリアージは、私たち開業医の本来の役割であり“かかりつけ医”の本来の姿であると考えています。

今回、せんだ整形外科は従来の整形外科医療の枠を広げ、予防医療と在宅医療を中心としたせんだメディカルクリニックに4月に生まれ変わることとなりました。これにより、救急の最前線で働いておられる医療関係者の一助となればと微力ながら考えています。熊本医療センターの皆様、本当に感謝しております。



医療法人CCRスタッフ一同

## 平成20年度 第2回 熊本市歯科医師会・国立病院機構熊本医療センター連絡協議会報告

平成20年度第2回開放型病院連絡協議会の開催を前にして、去る2009年2月3日(火)、熊本市歯科医師会と熊本医療センターとの懇談会が催されました。市歯科医師会からは古賀会長、藤波副会長、清村専務理事、田中医療管理理事、宮本医療管理委員会委員長、当院からは池井院長、河野副院長、片淵地域医療連携室長、高橋救命救急部長、児玉歯科口腔外科医長が出席しました。

池井院長、古賀会長の挨拶の後、議事に入りました。まず児玉より、当歯科口腔外科への紹介率について、平均39.3%となり、40%を越えるのは時間の問題となっていることを報告し、さらなる歯科医師会のご協力をお願いしました。

次いで、前回会議で歯科医師会からお話のあった重度障害者歯科医療の紹介が4例であったことや、救急

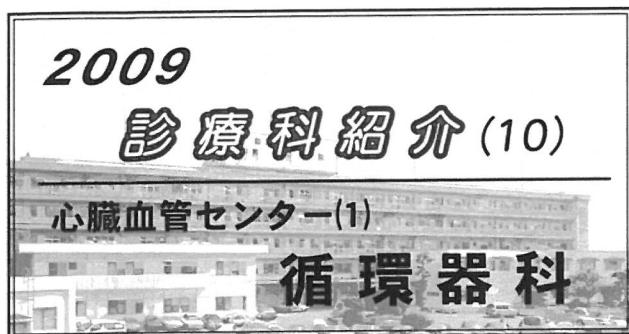
蘇生講座は2009年11月12日(木)に予定したことを報告しました。

次に高橋部長より、2008年度の歯科口腔外科救急症例数は133名と前年とはあまり変化はないが、外傷への症例数が増加しているとの報告がありました。

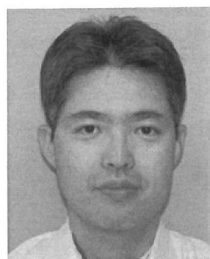
続いて河野副院長より、2009年2月28日(土)に鶴屋東館10階のパレアホールで開催される開放型連絡協議会について、症例呈示、全体会議の後に特別講演を予定していることが報告されました。

最後に、当院で開催されている口腔ケア研究会について平成21年度は2010年3月31日(水)に予定していることを報告し、歯科関係の参加だけでなく、医科からの参加もお願いして、歯科と医科との医療連携による口腔ケアに取り組んでいく方針となりました。

(歯科・口腔外科 児玉 圀昭)



医長  
**藤本 和輝**  
循環器疾患一般  
カテーテルインターベンション  
血管再生療法  
熊本大学医学部臨床教授  
日本内科学会認定内科専門医  
日本内科学会指導医  
日本循環器学会専門医  
日本心血管カテーテルインターベンション  
学会指導医  
日本心血管カテーテル治療学会指導医  
インフェクションコントロールドクター



医長  
**宮尾 雄治**  
循環器疾患一般  
カテーテルインターベンション  
日本内科学会認定医  
日本内科学会指導医  
日本循環器学会専門医

## 診療内容と特色

当科では救急医療に特に力を入れており、急性心筋梗塞、急性心不全、ショック、心肺停止などの重症例に対しても、24時間365日対応出来る体制にあります。また、平成12年2月からモービルCCUが24時間運行可能となり、徐々に出勤回数が増加してきています。尚、平成18年10月からモービルCCUが大型の新規車両となりました。

循環器科と心臓血管外科は、心臓血管センターとして共同で診療し、手術の検討は両者で行い、緊急手術にも迅速に対応しています。さらに、従来の循環器科の治療の他に、血管再生療法にも取り組み、現在までに31例施行し良好な結果を得、平成18年8月に高度先進医療の承認を受けています。

- 日本内科学会教育病院
- 日本循環器学会研修施設
- 日本心血管カテーテルインターベンション学会研修関連施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設



医師  
**古賀 英信**  
循環器疾患一般  
カテーテルインターベンション  
日本内科学会認定医  
日本循環器学会専門医  
日本心血管カテーテルインターベンション  
学会認定医



医師  
**中田 恵実**  
循環器疾患一般  
日本内科学会認定医



医師  
**金澤 尚徳**  
循環器疾患一般  
日本内科学会認定医

## 診療実績

平成20年（1～12月）

新入院患者数	894名
平均在院日数	12.0日
心臓カテーテル検査	780件
経皮的冠動脈形成術	222件
経皮的血管形成術	28件
ペースメーカー植え込み術 (ICD 2件を含む)	61件
血管再生療法	3件
モービルCCU	40件

## 研究実績

- 冠動脈疾患治療におけるインターベンション療法の妥当性についての検討  
(国立病院機構主導EBM推進のための大規模臨床研究)
- 心房細動による心原性脳塞栓予防における抗血栓療法の実態調査  
(国立病院機構主導EBM推進のための大規模臨床研究)
- 深部静脈血栓症および肺塞栓症に対する悉皆登録研究  
(国立病院機構主導EBM推進のための大規模臨床研究)  
(次ページに続く)

(前ページから)

床研究)

- 骨髄肝細胞移植による難治性血管炎への血管再生医療に関する多施設共同研究  
(厚生労働省科学研究費補助金)
- ヒスタミンと心不全の関連についての検討－H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか  
(厚生労働省科学研究費補助金)
- 高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成度に関する研究  
(循環器病研究委託費)
- 循環器疾患の地域連携パスの効果的運用システムの確立に関する研究  
(循環器病研究委託費)
- 高齢者高血圧におけるAII受容体拮抗薬増量とカ

ルシウム拮抗薬併用による心血管系イベント抑制効果の比較検討

- 薬剤溶出ステント(Drug Eluting Sten)を用いた冠動脈形成術後のイベント抑制に関する研究－アンジオテンシンII受容体拮抗薬によるイベント抑制効果－平成20年(1～12月)

## ご案内

当院では、24時間体制で救急医療を行っています。重症循環器疾患に対してモービルCCU(096-353-6501)を運行しています。

さらに、心電図判読FAX相談(24時間対応：096-354-8533)を受け付けています。ご遠慮なく御相談下さい。

## 治験センターからのお知らせ－治験に関する情報提供について－

新薬の開発のために治験は必要不可欠であり、医療の進歩にとって欠かせないものです。そのため国立病院機構熊本医療センターではこれまでも積極的に治験に取り組んできております。

当院では治験センターにて治験を一元的に管理しており、臨床研究部長をセンター長とし、治験事務局(薬剤科、事務部)とCRC(治験コーディネーター：Clinical Research Coordinator)で構成されています。治験センター設置当時は、CRCとして薬剤師1名、看護師2名でしたが、現在では、薬剤師3名、看護師2名、検査技師1名とCRCを増員し治験の充実化を図っています。

治験の実施に当たっては地域の先生方から紹介された患者さまが当院での治験に参加することもございま

す。その場合、治験を安全に行うために当院から治験に関する情報を提供させて頂いたり、患者さまがプロトコルの除外基準に抵触していないか等を確認するために、現在服用中の薬剤(用法・用量や投与期間等)や既往歴等をお電話やレターにて情報提供をお願いすることもあります。

治験は被験者となる患者さまの人権の保護と安全の確保を図りつつ、治験データの質や信頼性を確保しなければなりませんので、今後とも先生方のご協力をよろしくお願い致します。

(治験センター長 芳賀 克夫)

《連絡先》治験センター

096-353-6501(内線291)

### 治験センタースタッフ一覧

センター長	芳賀 克夫
事務局長	富澤 達
事務局長	西野 隆
	木佐貫涼子
	花木 成信
CRC	湊本 康則
	林 淳一郎
	久保美紀子
	市下 由美
	宮本 美穂
	正代 敦子
事務員	高本由紀子
	藤本 尚子



治験センタースタッフ一同

# 平成20年度九州ブロック院内感染対策研修会開催報告



国立感染症研究所  
小田切孝人先生

くまびょうNEWS139号でのご案内した通り、去る1月21日（水）より23日（金）の3日間にわたり、国立病院機構九州ブロック主催による、平成20年度の院内感染対策研修会が、当院研修センターにて開催されました。対象者は、

各施設から推薦された院内感染対策を担う医師7名、看護師59名です。また、国立病院機構以外の病院職員も数多く聴講されました。

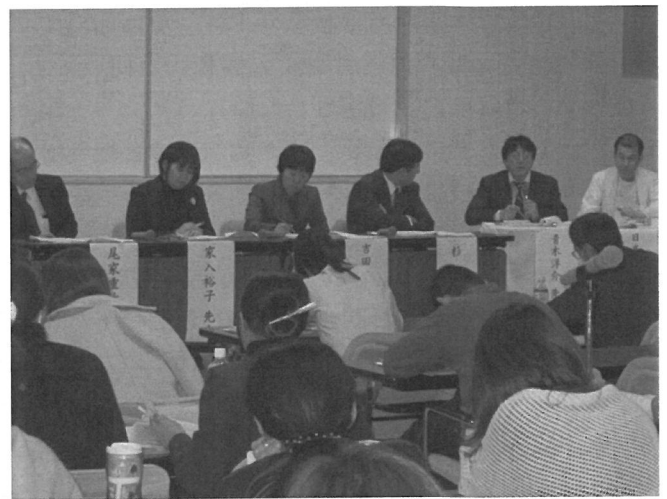
本研修では、全国学会等で著名な外部講師14名にお願いし、当院からも西野隆副薬剤科長が「国立病院機構ネットワークによる薬剤耐性菌サーベイランス」加口敦士医長が「疥癬の院内感染対策」、杉和洋医長が「内視鏡の管理と消毒」、日高道弘医長が「血管カテーテル由来血流感染対策」について講義して頂きました。

今回のトピックスは、国立感染症研究所の小田切孝人先生の「新型インフルエンザ対策」でした。本講義では、地球上にこれまで発生した新型インフルエンザの歴史、現在世界中に蔓延しているH5N1型鳥インフルエンザの疫学および病態、新型インフルエンザに

対する我が国の対策、特に、ワクチンの製造と抗ウイルス薬の備蓄状況、タミフル耐性インフルエンザの現状などを詳細に教えて頂きました。

本研修会は、我が国における院内感染対策を主導するトップの方々による最新且つ最高の知識を提供するとともに、市中病院における院内感染対策の問題点を掘り下げ、改善策を見出すことができた有意義なものであったと思います。

最後に、御協力を頂きました多くの職員の方々に厚く御礼申し上げます。（臨床研究部長 芳賀 克夫）



全体質疑・応答風景

## 第2回 二の丸肝臓談話会のお知らせ （日本医師会生涯教育講座3単位認定）

内 容：1) 講演

「インターフェロンによる皮疹」 皮膚科医長 加口 敦士

2) パネルディスカッション

「今までC型肝炎をどのように診療していたか？ 連携後どのように変わってきたか？」

日 時：平成21年3月9日（月） 19：30～21：00

場 所：国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

近年、肝疾患患者人口の増加に伴い地域医療連携の重要性が増してきています。当院では平成20年4月よりインターフェロン療法地域連携クリティカルパスを運用し、多くの医療施設との連携が深まりつつあります。この一環として9月に「二の丸肝臓談話会」を発足しました。実地診療に根ざした勉強会を目指しています。年4回の例会と、1回の特別講演会を予定しています。今回、第2回二の丸肝臓談話会を開催しますのでご案内をさせていただきます。

多数のご参加を歓迎します。

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター消化器科医長 杉 和洋 TEL：096-353-6501（代表） FAX：096-325-2519

## 専修医レポート



専修医

清水 千華子

いつも大変お世話になっております。専修医の清水千華子と申します。平成18年4月から当院初期研修2年間を経て引き続き平成20年4月より当院救急部の専修医としてお世話になっております。

救急部は毎朝8時からのICU・救命病棟回診に始まり、その後救急外来担当は救急外来に、その他のメンバーは各自受け持ちの患者さんの病棟へと伺います。救急外来に重症患者が搬送された時にはメンバー揃って対応しています。しかし、年々救急車の台数も増大し、様々な状態の患者さんが搬送されているのが現状で、患者さん、患者さんの家族をはじめとして診療にかかわるスタッフまですべての方々が満足できる医療がいきわたっているか疑問に感じることも多々あります。そのような環境の中で私達はたくさんの方々に支えられて何とか1日乗り越えている状況です。多くの方々の協力なしでは救急部は成り立っていかないこ

とを痛感し、感謝しています。

年々高齢者の方々が増加し、高齢者の急変患者搬送も増えてきています。はたして現在行っている医療がこの患者さんにとって良いことなのか疑問を感じることも多いです。しかしそのような状況の中、最初は現実を受け入れられず、何とかならないだろうかと険しい表情の家族の方々が患者さんと過ごす時間が経つにつれ、表情が柔らかく変わっていき、最期を迎えることになった時に、ご家族揃って穏やかな表情で、そして笑顔で涙ながらに別れの時を迎えられた時にはこれでよかったのかもしれないと感じることがあります。

救急外来、集中治療をはじめとして医療現場に携わる際には様々な人間模様があります。多くの人々がかかわっていく現場で様々なことを学ばせて頂いています。

これから先もご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、今後ともご指導よろしくお願ひします。



## ● 医学生のための初期臨床研修説明会 3月26日開催 ●

国立病院機構熊本医療センターでの初期臨床研修について病院説明会を開催致します。新病院の開院をひかえ初期研修を充実してまいりました。研修の要となる救命救急センターや各科の取り組みと病院の機能を紹介し、病院見学や研修医、指導医との意見交換を行います。医学生5年生、4年生の皆様是非ご参加下さい。

期 日：平成21年3月26日（木）14：00～18：00

場 所：国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターホール

内 容：病院としての新構想説明、臨床研修プログラム説明、病院見学、研修医、指導医との意見交換会など

参加ご希望の方は事前に登録をお願いします。

連絡先：国立病院機構熊本医療センター 管理課庶務係長 永友 俊二

〒860-0008 熊本市二の丸1番5号

TEL：096-353-6501（代）FAX：096-325-2519

E-mail：nagatomo@kumamoto.hosp.go.jp

登録事項：①所属大学、②学年、③氏名、④Eメール・アドレス

○院内見学の希望者は、白衣と名札を持参して下さい。

○当日車で来られる方は、城内プール跡の病院駐車場に停めて、整理券をお持ち下さい。

# 研修のご案内

## 第230回 初期治療講座 (会員制)

[日本医師会生涯教育講座5単位認定]  
[日本内科学会認定内科医更新のための2単位認定]

日時▶平成21年3月7日(土)15:00~18:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

### 「糖尿病の治療と最近のトピックス」

1. 経口血糖降下薬の使い方
2. インスリン注射薬の使い方
3. 人工膵臓の最近の進歩

座長 熊本県医師会理事 田代 祐基  
国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗  
国立病院機構熊本医療センター内科医長 豊永 哲至  
国保水俣市立総合医療センター糖尿病内分泌センター長 西田 健朗

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費20,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

## 第96回 救急症例検討会 (無料)

日時▶平成21年3月11日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

### 症例検討「喀血・吐血」

国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科医長 柏原 光介  
国立病院機構熊本医療センター消化器病センター消化器科医長 杉 和洋  
国立病院機構熊本医療センター外科部長 片渕 茂

医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

## 第122回 月曜会 (無料)

(内科症例検討会)  
[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

日時▶平成21年3月16日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

日常診療の悩みを解決します。ぜひ、ご参加ください。

1. 柏原医長による胸部レントゲン読影
2. 持ち込み症例の検討
3. 症例検討「末梢静脈からのtPA投与を行った上腸間膜動脈血栓症の1例」

国立病院機構熊本医療センター消化器病センター消化器科 佐藤有紀子

4. ミニレクチャー「脳梗塞のトピックス」

国立病院機構熊本医療センター脳神経センター神経内科 高松孝太郎

悩んでいる症例、これは情報共有したいと思われる症例をお持ち下さい。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川 哲志 TEL: 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

## 第91回 三木会 (無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]  
[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶平成21年3月19日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 「2型糖尿病患者におけるクリティカルパスを用いた教育入院の効果」

国立病院機構熊本医療センター栄養管理室 大山 明子

2. 「2型糖尿病における経口血糖降下薬治療の使い方」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

東輝一朗、児玉章子、西岡裕子、高橋毅、豊永哲至

3. 「当院における糖尿病教育入院プログラムとフットケア外来」

荒尾市民病院 代謝内分泌内科 田口哲也、萩原利奈

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗 TEL 096-353-6501 (代表) 内線705

2009年

# 研修日程表

3月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

3月	研修ホール	教育研修棟 4階	その他
2日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
3日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
5日(木)	18:30~20:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
6日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
7日(土)	<b>15:00~18:00 第230回 初期治療講座《会員制》</b> [日本医師会生涯教育講座5単位認定] [日本内科学会認定内科医更新のための2単位認定] 座長 熊本県医師会理事 田代 祐基 「糖尿病の治療と最近のトピックス」 1. 経口血糖降下薬の使い方 国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一郎 2. インスリン注射薬の使い方 国立病院機構熊本医療センター内科医長 豊永 哲至 3. 人工膵臓の最近の進歩 国保水俣市立総合医療センター糖尿病内分泌センター長 西田 健朗		
9日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
10日(火)	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
11日(水)	18:30~20:00 第96回 救急症例検討会 「喀血・吐血」		
12日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
13日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
14日(土)	14:00~16:00 第212回 滅菌消毒法講座《会員制》 「物品管理の基本的な考え方と実際」 一般演題	株式会社ホギメディカル学術部 橋本 章	
16日(月)	19:00~20:30 第122回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
17日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
18日(水)	13:00~17:00 糖尿病教室		12~13 糖尿病教室 研食
19日(木)	19:00~20:45 第91回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]	19:30~21:00 有病者歯科医療研究会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
23日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
24日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
26日(木)		19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
27日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
30日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
31日(火)	19:30~21:00 臨床口腔外科研究会	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ

(会) 会議室 C 病院本館2階カンファレンス 手 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム 心リハ 心大血管リハビリテーションセンター 研食 教育研修棟食堂  
 問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

TEL 096-353-6501(代) 内線263 096-353-3515(直通)